

# 留 学 報 告 書

作成日:2018年6月18日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: エベレットコミュニティカレッジ 現地言語: Everett Community College
留学期間	2017年9月～2018年6月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	2年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2019年6月20日
明治大学卒業予定年	2020年3月

留学費用項目	現地通貨（ドル）	円	備考
プログラム費用		円	
保険料	366ドル	40,260円	
授業料	9,500ドル	1,045,000円	
宿舎費	9,840ドル	1,082,400円	
生活費	1,500ドル	165,000円	
食費	3,000ドル	330,000円	
渡航旅費	2,000ドル	220,000円	
その他	1,000ドル	110,000円	娯楽費用
合計	27,206ドル	2,992,660円	

## 滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)

寮

2)滞在費

3 クオーター9,840 ドル

3)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数4)

4)設備について

電気 水道 ガス 給湯 シャワー 風呂(浴槽) トイレ エアコン  
キッチン インターネット環境 食堂 電話 その他( )

5)住居を探した方法:

留学先大学のホームページ

6)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

新築だったので Wi-Fi やセキュリティ面も問題なく過ごせた。

## 現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか？大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか？

利用する機会が無かった  
利用した：

2)保険について。現地の医療保険に加入しましたか？

した ( ) しなかつた

3)留学前後での予防接種の必要の有無

有 ( ) 無

4)学内外で問題があったときは誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか？

留学生担当の International Office に相談した。

5)現地の治安はどうでしたか？また現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか？  
 実際に窃盗等を含む犯罪に巻き込まれた場合、どのように対処しましたか？

大学からの情報提供。

6)パソコン, 携帯電話, インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか？

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

特に問題なく使用することができた。

7)現地での資金調達はどのように行いましたか？(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

デビットカードとクレジットカードの使用。

8)利便性、買い物はどうでしたか？また現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば入力してください。

寮の近くにスーパー・マーケットがあり、問題なく生活できた。

9)授業料の支払方法、支払時期等について入力してください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

高額のため、親のクレジットカードの情報を日本から持ってきてオンラインで支払いをした。

10)その他、生活等に関して参考となる事項を入力してください。

生活に必要な物は全て不自由なく手に入れることができたので、日本から多くの物をわざわざ持ってこなくても良い。

**渡航について**

1)ビザについて。ビザの種類を入力してください。

ビザの種類(F-1・J-1など): F-1

2)取得方法、提出書類、取得手続きにあたっての注意点等。

全て早めに手続きを進めるべき。

3)手続きに要した日数(提出書類の取得からビザ取得まで)

約 30 日

4)出国と帰国の日付を入力してください。(西暦で入力)

出国: 2017年9月10日

帰国: 2018年6月20日

5)経路を入力してください。(例:成田→シカゴ→ニューヨーク→シカゴ→成田)

成田→シアトル

6)現地での出迎え

有 ( ) 無

7)到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容

2日間のオリエンテーションで学生生活の説明を受け、履修登録や授業料支払い等サポートしてもらしながら行った。

**卒業後の進路について**

1)留学を通して生じた、今後の進路についての考え方について教えてください。

ITを使った教材で子供たちの教育をサポートする職業に就きたい。

2)留学前の単位取得や就職活動に対して工夫した点

留学期間が1学年間と長いため、留学前に最大限の単位を取得した。

**学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)**

1)留学先で取得した単位数合計 42 单位	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。 <input checked="" type="checkbox"/> 手続き中 <input type="checkbox"/> 单位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めて入力して下さい。	

履修した授業科目名(留学先大学言語): Academic English Grammar	履修した授業科目名(日本語訳): 英文法
科目設置学部・研究科	
履修期間	<input checked="" type="checkbox"/> Fall <input type="checkbox"/> Winter <input type="checkbox"/> Spring
現地での単位数	(4)単位
本学での単位認定状況	<input checked="" type="checkbox"/> 手続き中 <input type="checkbox"/> 単位認定(本学で認定された単位数を入力して下さい)
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他
授業時間数	1週間に 50 分が 4 回
担当教授	Cindy Sanford
授業内容	文法についての講義。
試験・課題など	問題集。
感想を自由に述べて下さい	文法を再度一から学べる良い機会だった。

履修した授業科目名(留学先大学言語): Academic Listening & Speaking	履修した授業科目名(日本語訳): アカデミックリスニング、スピーキング
科目設置学部・研究科	
履修期間	<input checked="" type="checkbox"/> Fall <input type="checkbox"/> Winter <input type="checkbox"/> Spring
現地での単位数	(3)単位
本学での単位認定状況	<input checked="" type="checkbox"/> 手続き中 <input type="checkbox"/> 単位認定(本学で認定された単位数を入力して下さい)
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他
授業時間数	1週間に 80 分が 2 回
担当教授	Lijao Served
授業内容	リスニング、スピーキング。
試験・課題など	ディスカッション、プレゼンテーション、リスニングの小テスト。
感想を自由に述べて下さい	留学生同士でのグループディスカッションを通じてスピーキング力を上げることが出来た。

履修した授業科目名(留学先大学言語): Academic Reading & Writing II	履修した授業科目名(日本語訳): リーディング、ライティング
科目設置学部・研究科	
履修期間	<input checked="" type="checkbox"/> Fall <input type="checkbox"/> Winter <input type="checkbox"/> Spring
現地での単位数	(5)単位
本学での単位認定状況	<input checked="" type="checkbox"/> 手続き中 <input type="checkbox"/> 単位認定(本学で認定された単位数を入力して下さい)
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他
授業時間数	1週間に 60 分が 4 回
担当教授	Sharon Moore
授業内容	エッセイの書き方。
試験・課題など	エッセイ(中間・期末エッセイも含む)、グループプレゼンテーション。
感想を自由に述べて下さい	エッセイの書き方、引用の仕方について一からしっかりと学ぶことが出来た。

履修した授業科目名(留学先大学言語): Interpersonal Communication	履修した授業科目名(日本語訳): コミュニケーション
科目設置学部・研究科	
履修期間	<input type="checkbox"/> Fall <input checked="" type="checkbox"/> Winter <input type="checkbox"/> Spring
現地での単位数	(5)単位
本学での単位認定状況	<input checked="" type="checkbox"/> 手続き中 <input type="checkbox"/> 単位認定(本学で認定された単位数を入力して下さい)
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他
授業時間数	1週間に 60 分が 4 回
担当教授	Mary Dellasega
授業内容	コミュニケーションについての講義。
試験・課題など	講義内容に関する理解度テスト、エッセイ、ペアワーク、グループプレゼンテーション。
感想を自由に述べて下さい	コミュニケーションの専門用語を学んだり、クラスメイトとランダムにペアを組み、二者間におけるコミュニケーションのプロセスを学んだりした。

履修した授業科目名(留学先大学言語): Introduction to Education	履修した授業科目名(日本語訳): 教育入門
科目設置学部・研究科	
履修期間	<input type="checkbox"/> Fall <input checked="" type="checkbox"/> Winter <input type="checkbox"/> Spring
現地での単位数	(5)単位
本学での単位認定状況	<input checked="" type="checkbox"/> 手続き中 <input type="checkbox"/> 単位認定(本学で認定された単位数を入力して下さい)
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他
授業時間数	1週間に 100 分が 2 回
担当教授	Ken White
授業内容	アメリカの教育の歴史、教育方法。
試験・課題など	講義内容に関する理解度テスト、グループプレゼンテーション、ディスカッション、課題図書。
感想を自由に述べて下さい	毎回の授業でグループでのディスカッションがあったので、事前に何を話すか予習の際に決めておくことで、積極的に参加できたと思う。そして、実際にアメリカの小学校を訪問することで日米の教育方法の比較ができた。

履修した授業科目名(留学先大学言語): English Composition I	履修した授業科目名(日本語訳): 英語 I
科目設置学部・研究科	
履修期間	<input type="checkbox"/> Fall <input checked="" type="checkbox"/> Winter <input type="checkbox"/> Spring
現地での単位数	(5)単位
本学での単位認定状況	<input checked="" type="checkbox"/> 手続き中 <input type="checkbox"/> 単位認定(本学で認定された単位数を入力して下さい)
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他
授業時間数	1週間に 60 分が 4 回
担当教授	Steven Tobias
授業内容	Academic essay の書き方、文献の探し方。
試験・課題など	エッセイ。
感想を自由に述べて下さい	エッセイの書き方を中心に、エッセイのトピックの選び方やエッセイにふさわしい文献の探し方も学べるので Writing 力を上げることが出来た。

履修した授業科目名(留学先大学言語): Public Speaking	履修した授業科目名(日本語訳): 演説
科目設置学部・研究科	
履修期間	<input type="checkbox"/> Fall <input type="checkbox"/> Winter <input checked="" type="checkbox"/> Spring
現地での単位数	(5)単位
本学での単位認定状況	<input checked="" type="checkbox"/> 手続き中 <input type="checkbox"/> 単位認定(本学で認定された単位数を入力して下さい)
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input checked="" type="checkbox"/> その他
授業時間数	1週間に 60 分が 4 回
担当教授	Mark Murphy
授業内容	スピーチ
試験・課題など	スピーチ、講義内容に関する理解度テスト。
感想を自由に述べて下さい	現地生の前でスピーチをするため、人前で英語を話す自信がついた。また、先生学生からフィードバックをもらえるので、とてもためになった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語訳):
Child Development	幼児教育
科目設置学部・研究科	
履修期間	<input type="checkbox"/> Fall <input type="checkbox"/> Winter <input checked="" type="checkbox"/> Spring
現地での単位数	(5)単位
本学での単位認定状況	<input checked="" type="checkbox"/> 手続き中 <input type="checkbox"/> 単位認定(本学で認定された単位数を入力して下さい)
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他
授業時間数	1週間に 120 分が 2 回
担当教授	Michelle Barners, Sharon Moore
授業内容	幼児教育についての短いビデオを見てグループで話し合ったり、グループワークをしたりする。
試験・課題など	Observation に関するレポート、グループワーク、試験は特になし。
感想を自由に述べて下さい	実際に Early Learning Center に行き、幼児の行動を観察することで講義内容と照らし合わせて、より理解を深めることができた。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語訳):
Introduction to Global Studies	グローバル入門
科目設置学部・研究科	
履修期間	<input type="checkbox"/> Fall <input type="checkbox"/> Winter <input checked="" type="checkbox"/> Spring
現地での単位数	(5)単位
本学での単位認定状況	<input checked="" type="checkbox"/> 手続き中 <input type="checkbox"/> 単位認定(本学で認定された単位数を入力して下さい)
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他
授業時間数	1週間に 60 分が 4 回
担当教授	Dinter, Elke
授業内容	現在の国際社会が抱える問題を様々な国の歴史的背景を通じて考える。
試験・課題など	グループワーク、プレゼンテーション、単語クイズ、講義内容に関する理解度テスト。
感想を自由に述べて下さい	グローバル問題について考えたり、色々な人の意見を聞いたりして理解を深めることができた。多くの学生が授業中に挙手し、意見を述べる主体性が求められる授業。

**留学に関するタイムチャート**

2016年 1月～3月	TOEFL iBT 対策
4月～7月	TOEFL iBT 対策
8月～9月	TOEFL iBT 受験
10月～12月	出願及び学内選考
2017年 1月～3月	学生寮の申し込み
4月～7月	留学許可書の受け取り、ビザの申請
8月～9月	渡航前の最終確認、出発
10月～12月	秋学期、冬休み
2018年 1月～3月	冬学期、春休み
4月～7月	春学期、帰国
8月～9月	
10月～12月	

## 留学体験記

<b>留学ようと決めた理由</b>	主に勉強面と生活面の2つに大きく分けたそれぞれの目的があったため、留学を決意しました。勉強面に関しては、英語力とコミュニケーション力の向上、アメリカの教育法を学ぶという目的がありました。そして、生活面に関しては、1年間親元から離れて海外で一人で生活をし、多様性の中で様々な人や文化に触れ、自分とは異なる価値観を知ることで視野を広げたいと思ったからです。また、自分が何から影響を受けて、それによってどのような考え方をするようになるのかを知ったり、日本を客観的に捉えたりしたいと思ったからです。
<b>留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備</b>	留学前に Speaking 力をもっと向上させておくべきだと思いました。やはり現地の方々とコミュニケーションを取り、親しい仲になるためには Speaking 力が必要不可欠です。学内で現地学生や他国の留学生と比較してみても、やはり日本人の Speaking 力は不足していると強く感じました。また、会話の中で自分の意見をすぐにその場で言うことのできる力も必要だと感じました。そして、個人としての意見だけではなく、日本人としての意見を言うことも求められたので、様々なことに関して自分の考えや日本人としての考えは何かを考える機会を持つことが大切だと思いました。
<b>留学中に役立った書籍、ウェブサイト等</b>	TED Talks の様々な分野の講演を聞くことで、Listening 力の向上だけでなく、自分の興味を広げることもできました。また、Student CNN News で国際的なニュースを英語で聞くことで、英語力の向上だけでなく、世界中の問題についても理解を深めることができました。そして、留学中も TOEIC の学習を並行して行いたいと考えていたため、日本から持ってきた公式の TOEIC 問題集に自習の時間に取り組み、実際に現地で受験をしました。留学をしているからといって、常に生きた英語に触れる機会があるとは限らないので、自分で様々な手段や方法で英語に触れる機会を作ることも大切だと思いました。
<b>この留学先を選んだ理由</b>	第一に、アメリカであることが条件になりました。アメリカ人が話す英語を日常的に聞いたり、会話をしたりすることで、英語力の向上を図りたいと思ったからです。また、多様性で知られているアメリカで、多くの国の留学生と交流を深めたり、様々な文化や価値観に触れたりしたいと思ったからです。第二に、クラブ活動が盛んであることで知られていたので、自分から現地のコミュニティに入ることのできる機会が多くあると思ったからです。
<b>大学・学生の雰囲気</b>	都市部から離れた町に位置しており、豊かな自然に囲まれていて静かなので、学習に集中できる環境が整っています。ほとんどの学生が4年制大学への編入を目指しているため、一人ひとりがそれぞれの目標に向かって学習に励み、楽しい学生生活を送っているように感じました。また、留学生に関しては、アジアからの留学生が多いのが印象です。留学生と現地学生が接することのできる機会は、留学生自ら行動に移さないと日々無いように感じました。
<b>滞在先の雰囲気(寮・アパート・ホームステイ・シェアハウス)</b>	3学期、全て学生寮に滞在しました。新しい学生寮ということもあり、設備も整っていてとても快適に過ごすことができました。管理人さんが住み込みをしているだけではなく、アシスタントの学生も常時入口にいたので、安全であることはもちろん、何か寮内で問題があった際にはすぐに質問したり、相談したりすることができました。入居者に関しては、現地学生もいましたが、留学生の方が多いように見受けられ、寮内の現地学生との交流は限られているように感じました。
<b>交友関係</b>	クラブや学生寮のイベントに積極的に参加することで、現地学生や留学生と交流する機会を得ることができ、交友関係を広げることが出来ました。クラブでは、インターナショナルクラブの役員として留学期間中、役員の仲間と共にイベントの企画や運営を行いました。そして、友達にイベント等に誘われた際には、なるべく断らずに全て参加するように心がけました。その他に、授業内でペアワークやグループワークで仲良くなった友達と食事をしたり、出かけたりすることで良い交友関係を築くことが出来たと思います。
<b>困ったこと、大変だったこと</b>	留学当初は、英語のネイティブスピーカーや現地学生との会話に苦戦しました。相手の質問にただ答えるだけで、その内容について自分でもっと深く話したり、相手に質問し返したりすることが難しかったです。しかし、徐々に慣れていき、会話がどんどん続いていった際には、とても嬉しかったです。話すトピックについての引き出しをたくさん持っていたり、それに関する自分の意見も持っていることが常に求められました。また、現地学生は話すスピードが速く、1回で聞き取ることが大変でした。現地学生は留学生が話す英語に聞き慣れていないため、最初の頃は聞き返されることが多く、悔しい思いもしました。

学習内容・勉強について	教育を専攻していましたが、教育だけでなく自分が興味を持った分野や、ためになると思った授業は積極的に受講しました。教育に関しては、授業内で学ぶだけではなく、実際に大学で、学生としてアメリカの教育方法の元で授業を受けたことで日常的に教育方法の日米比較をすることが出来ました。また、現地の幼稚園や小学校に実際に訪問することで発見できたこと也有ったので、机に向かって行う勉強以外の所でも学ぶことが多くありました。また、Speaking 力の向上のため、日々現地学生に話しかけたり、ディスカッションの際には自分から話し出すよう心掛けました。
課題・試験について	課題の量は各授業によって異なりますが、自分のペースでしっかりとこなすことができたと思います。課題や授業で分からぬ部分に関しては、Office hour の時間を利用して先生に個人的に質問したり、授業内で知り合った現地学生に教えてもらったりして、理解を深めることができました。試験に関しては、授業によって中間テストの有無も異なり、また期末テストもエッセイだけの授業もあれば友人ととのテスト受験が認められている授業もありました。教授によって課題の量や評価方法も異なるのが印象的でした。1つ1つの授業内容を自分なりにこなし、理解することが大切だと思いました。
大学外の活動について	学内で知り合った友達に自宅に招待して頂き、Thanksgiving Day や Christmas 等、アメリカ特有のイベントを現地のご家族と一緒に過ごすことができたのは本当に良い思い出です。また、Bridges(留学生向けにイベントを主催する団体)に所属し、他大学との学生とも交流する機会を得て、交友関係を広げることも出来ました。そして毎週1回、近隣の自宅での Bible Study(聖書について学ぶ会)に参加し、キリスト教についても理解する機会がありました。現地の方々と関わり、勉強のことや将来のこと等、様々なことを話したり、相談にのってもらったりして、多くの方々に支えて頂いたことに感謝しています。
留学を志す人へ	留学に挑戦するからには、新しい環境で新しいことにたくさん挑戦するべきだと思います。留学を通じて、人は人によって成長するということを改めて実感しました。限られた留学期間の中で、どんどん自分から積極的に様々な人々と関わったり、コミュニティに属したりすることが大切だと私は思います。挑戦することは勇気を出すことにとどまらず、それを続けていくことだと思います。そして、留学をしているからと言って常に英語に触れる機会があるとは限らないので、環境に頼るのではなく、自分が変わることが求められると思いました。留学は本当に全て自分次第だと思いました。

### 1週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	授業	授業	授業	授業	課題	予習	自習
	授業	授業	授業	授業	クラブ活動	予習	課題
午後	授業	インターンシップ	授業	インターンシップ	友人とランチ	友人らとシアトルへ	料理
	課題	クラブ活動	課題	クラブ活動	課題	シアトル観光	留学生との交流
夕刻	ジム	ジム	ジム	近隣の家族と夕食	ジム	課題	自習
夜	課題	課題	課題	課題	課題	自習	予習